

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
建築材料学	山本 貴正	講義	2	建築士	1,2	3	1,2,3,4
授業概要 授業目的	<ul style="list-style-type: none"> 現代の建築構造物を代表する構造形式は、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造および木質構造である。本授業では、これらの構造物を構成する素材、すなわちコンクリート、鉄鋼および木材の製造方法と各種性質について述べるとともに、仕上げ材料として使用される各種の天然材料および人工材料の基本的特性に関する知識も習得できるように講義する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 各種建築物を構成する主要な構造材料の種類と性質を把握し、構造材料と建築物の特徴との関係を理解するとともに、仕上げ材料の種類とその用途についての知識を得る。 						
回	学習内容						
1	建築材料概説						
2	建築材料の分類						
3	建築材料の性能と性質						
4	コンクリート I (種類と組成)						
5	コンクリート II (製造方法)						
6	コンクリート III (力学的性質)						
7	コンクリート IV (RC 構造物の耐久性)						
8	鉄鋼 I (種類・製造方法)						
9	鉄鋼 II (力学的性質)						
10	木材 I (種類・加工方法)						
11	木材 II (力学的性質)						
12	非構造材料 I (熱)						
13	非構造材料 II (音響)						
14	非構造材料 III (金属系・セラミックス系材料)						
15	非構造材料 IV (高分子系材料・他)						
予習内容 復習内容	<ul style="list-style-type: none"> 予習形式の課題を課し、授業で予習内容の確認をする。 復習で、演習問題を解く。 						
教科書	<ul style="list-style-type: none"> 特に指定しない。 						
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> 課題 (40 点)、試験 (60 点) の合計を評価点とする。 評価点 60 点以上を合格とする。 						
実務経験							
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 勉強と作業を使い分けて、暗記ではなく理解を伴う暗記をすることが大切である。 受講するにあたり、建築材料は身近な存在であることを意識すること。 						